

事業のタネシート

活動地域・団体名： 佐渡市

事業名称 1：佐渡の自然、保全再生事業

あらすじ

世界農業遺産に認定され10年、また、生物多様性地域戦略策定から10年を迎える。両取組共に地域循環共生圏の創造という概念も取り組みながら移行期に突入している状況である。目標と現状が乖離した課題も生じており、当時の将来像とのギャップ、次の施策での検討を行う共に、将来の目指したい島の姿を探る。

ストーリー

当市においては、時代と環境の変化に適用し「生きている遺産」「知恵の遺産」と呼べる世界農業遺産での認定、生物多様性農業における循環型農業を進めてきた。しかし、本市についても人口減少が続き、農林水産においても担い手不足が深刻となっており、耕作放棄地が散見される状況となった。先人たちが守り、受け継いできた佐渡の自然、トキとの共生を目指す佐渡においては、自然の保全と再生は急務となっている。

そこで、地域循環共生圏の創造と概念を取り込み、環境・経済・社会の面から佐渡の地域資源を生かした事業や事業に向けたキープレイヤーの発掘やパートナーシップを構築を進める。また、次世代を担う若者の交流を促進する事業を実施する。

事業の骨子		現時点で想定される課題・ボトルネック
①ありたい未来	佐渡の豊かな自然と暮らしの保全・再生	隠れたキープレイヤーの発掘 次世代の活用と育成
②課題	人口減少・高齢化が問題となる地域において、地域の持続可能性をどのように維持するか	
③なぜこの事業をやるのか（Why）	環境保全と経済循環に地域循環共生圏の概念を取り込み発展を目指す	
④地域資源	世界農業遺産、朱鷺と暮らす郷づくり認証制度（米）、トキ	
⑤商品・サービスの具体的な内容（What）	朱鷺認証米の多様な活用、人材育成と次世代教育、キープレイヤーをつなぐプラットフォームづくり	
⑥担い手（Who）	市役所・各協議会員・農業者・若者	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	世代つなぐ情報共有、農業でつながる経済の循環、	3月のワークショップにより、産業・金融・子供関連の団体に協力いただく
⑧事業で生じる成果	各事業のキープレイヤーをネットワーク化により、各協議会等における情報交換での相乗効果が期待できる 次世代若者の思いを	

事業名称 2 :		
あらすじ		
ストーリー		
事業の骨子		現時点で想定される 課題・ボトルネック
①ありたい未来		
②課題		
③なぜこの事業をやるのか (Why)		
④地域資源		
⑤商品・サービスの具体的な内容 (What)		
⑥担い手 (Who)		課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環		
⑧事業で生じる成果		

事業名称 3 :		
あらすじ		
ストーリー		
事業の骨子		現時点で想定される 課題・ボトルネック
①ありたい未来		
②課題		
③なぜこの事業をやるのか (Why)		
④地域資源		
⑤商品・サービスの具体的な内容 (What)		
⑥担い手 (Who)		課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環		
⑧事業で生じる成果		